



新しい牛群検定成績表について(その56)

—ホームページを活用しよう—

情報分析センター 部長 相原 光夫

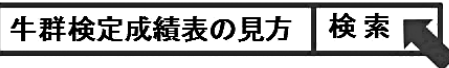
牛群検定には、1) 飼養(健康)管理、2) 繁殖管理、3) 乳質・衛生管理、4) 遺伝的改良の4つの機能があります。これまでの連載のなかでは、検定成績表をいかに利活用し、農家の経営改善に資するかを紹介してきました。今回は、検定成績表を活用するにあたって、いろいろな補足情報を紹介します。例えば、分娩間隔420日の農家があったとします。目標値は380日ですから、そこから見れば要改善となります。しかし、全国平均では433日です。従って、この農家の分娩間隔は、改善の余地はあるものの全国平均でみれば良好な分類となります。このように検定成績表を活用するには、平均値などの補足情報が必要となります。当団のホームページ(HP)には、いろいろな補足情報を公開しています。どうぞ活用ください。

1 牛群検定成績表の見方

これまで連載してきた記事のバックナンバーは、当団HPに掲載してあります(図1)。乳量、乳成分の見方といった基礎的なところも掲載してありますのでぜひご一読ください。

また、連載記事の中で作成してあるパワーポイントも編集可能な状態で提供しています。地域の研修会等でご必要ときはご請求ください。無償でご提供させていただきます。解説書も2冊発刊していますので、あわせてご活用ください。Amazon等のネットショップでご購入いただけます。

図 1



●LIAJNEWS●

・LIAJNews(LIAJニュース)に連載中の「新しい牛群検定成績表について」のバックナンバーです

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> (1)新しい牛群検定成績表について (3)個体検定日成績での乳量の見方 (5)頭数と繁殖成績の見方 (7)泌乳曲線、泌乳持続性と発病・疾病での減乳 (9)体細胞情報について② (11)乳用種雄牛の選び方と牛群検定情報の利用② (13)繁殖台帳Webシステムについて (15)育成牛にPA表示、BO管理など (17)繁殖遅延による経済損失など(JMRの利用) (19)優良事例から (20)授精結果による次世代診断 (22)経営情報の見方(損益分岐点) (24)検定成績表を見る順番①(基本編) (26)ボディコンディションスコアの判定 (28)ビデオ通信講座(第2回_繁殖編) (30)ボディコンディションスコアの成績表示変更 (32)肢蹄状況スコア (34)次世代診断情報(授精結果診断)① (36)子牛は足りていますか? 生産牝牛情報の活用 (38)生産乳量を増やそう! (40)搾乳ロボット利用農家における牛群検定 (42)繁殖改善としての分娩後初回授精のポイント (44)もうひとつの夏季乳量減(出荷乳量) (46)気象情報の表示(平均気温、降水量、日照時間など) (48)牛群検定から読み取るカルシウム不足 (50)年間子牛生産状況について① (52)年間子牛生産状況について③ (54)月別分娩予定頭数 | <ul style="list-style-type: none"> (2)暑熱対策での検定成績表の利用 (4)標準乳量についてのQ&A (6)生個体識別番号との連携と新しい除籍理由 (8)体細胞情報について① (10)乳用種雄牛の選び方と牛群検定情報の利用① (12)分娩予定日、飼養・搾乳形態、管理状況、品種について (14)乳牛の健康管理①(乳脂肪率と蛋白質率) (16)乳牛の健康管理②(MUN、P/F比、周産期病) (18)繁殖遅延の原因追及(授精状況等の把握) (19-2)優良事例見本 (21)次世代診断情報(総合診断) (23)牛群平均情報の活用(ホームページ紹介) (25)検定成績表を見る順番②(応用編) (27)ビデオ通信講座(第1回_体細胞数編) (29)繁殖台帳Webシステムの新機能 (31)分娩間隔と空胎日数 (33)牛群改良情報(ゲノミック評価情報) (35)次世代診断情報(授精結果診断)② (37)「生群IIによる乳用後継牛と肉用肥育素牛の生産について (39)ライナースリップとドロップレッツ現象 (41)検定日乳量階層の泌乳曲線の活用 (43)体細胞情報からみた健康管理 (45)長命連産と産次構成(平均産次、平均除籍産次など) (47)繁殖管理(繁殖コードの活用) (49)推定体重、推定飼料効率等 (51)年間子牛生産状況について② (53)生群のばらつき (55)年間子牛生産状況に新しい情報が追加されました NEW! |
|--|--|

「今日も明日も牛群検定が約束するあなたの酪農経営(デイリィジャパン社)」 2,880円(税込み)
「牛群検定クイックチェック～早わかり～(全国酪農協会)」 2,400円(税込み)

2 牛群平均情報

検定成績を活用するためには、数値の平均値をある程度把握する必要があります。冒頭に示したように分娩間隔をはじめとして、乳量や各乳成分、空胎日数など枚挙に暇はありません。図2示したように当団HPには各都道府県の検定成績の平均値が示してあります。

また、この情報は平成20年からHP公表していますので、各都道府県での改良の歩みを知ることができます。

図2

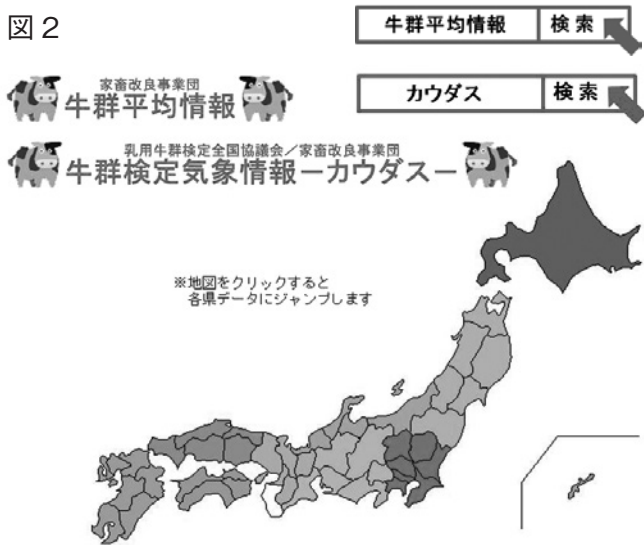
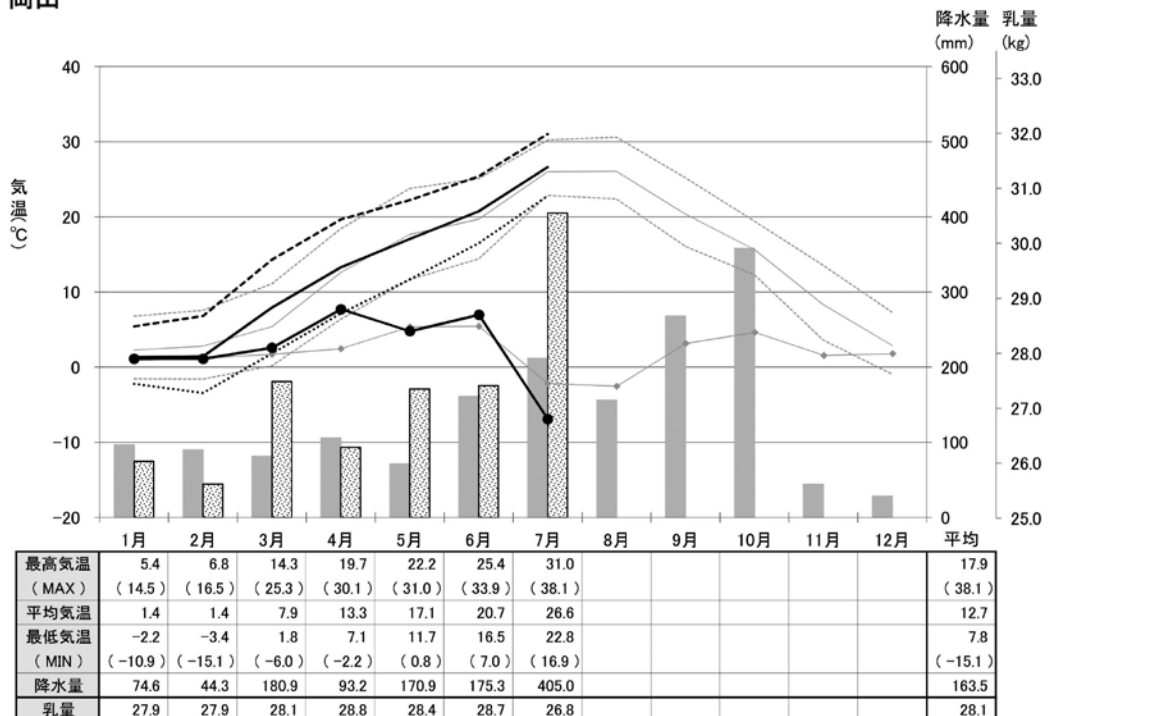


図3

平成30年 牛群検定気象情報 -カウダス-

岡山



3 牛群検定気象情報-カウダス-

前述と同じページに牛群検定気象情報（以下、カウダス）が掲載されています。都府県において暑熱対策は大きなポイントとなります。そのためには、自分の地域がどのような気象条件となっているか知ることが大事です。カウダスは、一般の気象情報と異なり酪農家が在所する地区のアメダス情報を集計したものです。乳量の動きと気象をあわせて知ることができます。

図3は本年の岡山県のカウダスです。気象の毎月の動きが前年と2重に表示されているので、前年比較しやすく工夫されています。岡山県では報道されたように7月豪雨が凄まじく、例年の倍の降水があったことがわかります。このことから、例年以上に乳量が夏季に減少しているようです。

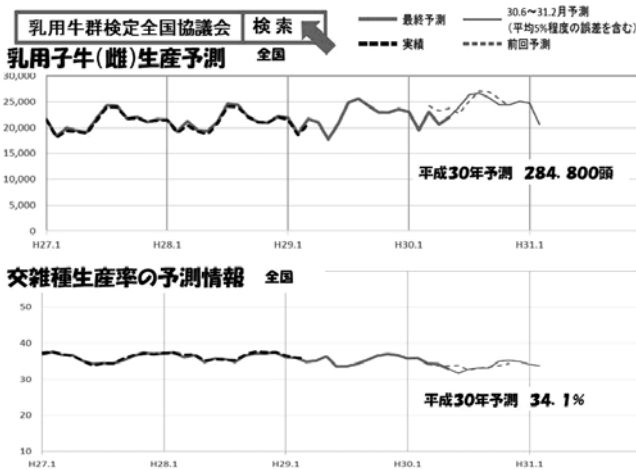
なお、カウダスとは牛（カウ）と気象情報（アメダス）をあわせた造語です。

4 乳用子牛生産予測

(1) 乳用子牛生産予測情報

本年5月から開始した新しい情報です。牛群検定における授精等の繁殖情報をもとにした予測情報で、検定を行っていない農家の牛も含んで推定計算していま

図 4



す。雌、雄、交雑種について、それぞれ全国、都府県、北海道の3区分を示しています。図4は、本年7月末に生産予測したもので、平成31年2月までに全国で生産予測される雌子牛頭数の例です。HP上では、表上で月ごとの予測頭数を数値で表示してあります。現時点では、本年の雌子牛頭数は、約28万頭以上の生産予測となっており、昨年より1万頭以上多いという予測となっています。

以下に、その他の予測情報を列挙しますが、検定を行っていない農家も含むことや区分や期間等の条件は同一です(図4)。

(2) 交雑種生産率

乳用種の母牛から出生する交雑種の生産率の予測を毎月グラフおよび表によりHPに表示しています。7月末の予測では、本年1年間で全国34.1%、都府県51.9%、北海道21.8%といずれも昨年より下廻る見込みです(図4)。

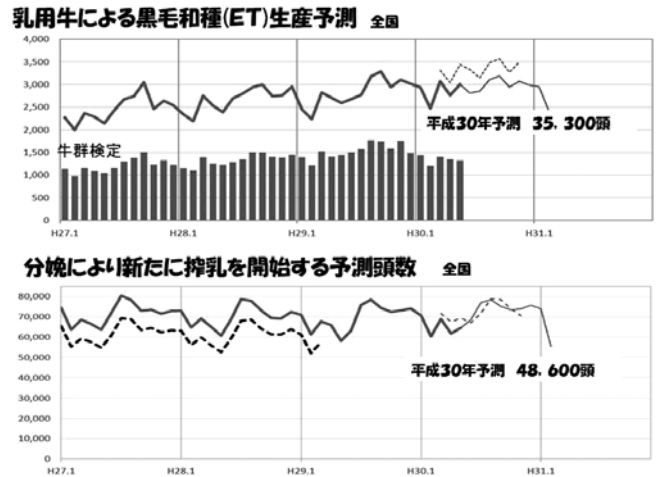
(3) 最近の乳用子牛の出生傾向

スペースの関係で図例を掲載していませんが、平成20年度に遡り乳用種の雌と雄の出生頭数と性比の現在までの推移と予測がHPに表示しています。性比は従来、雌48雄52と言われていましたが、本年1年間における性比は雌58雄42と予測されており、性選別精液の普及がうかがえます。

(4) 乳用牛による黒毛和種(ET)生産予測情報

ETによる黒家和種の生産も、現在では盛んに行われています。牛群検定で報告される頭数(棒グラフ)をもとに、全国で生産される黒毛和種頭数を予測しています。本年の生産予測頭数は、全国35,300頭、都府県27,500頭、北海道8,000頭でいずれも昨年頭数を大きく上回る見込みとなっています(図5)。

図 5



(5) 分娩により新たに搾乳を開始する予測頭数

子牛の生産予測の視点を母牛に変えれば、子牛の出生とは母牛にとって分娩であり搾乳の開始を意味します。本年中に搾乳を開始する予測頭数は、北海道において48万頭越えと前年を大きく上回る頭数である一方で、都府県では37万頭を下回り前年割れする予測となっています。このことから都府県での搾乳牛不足が現在も継続しており生乳生産量に影響していると考えられます(図5)。

5 各種パンフレット

牛群検定情報の活用のための各種パンフレットについて、随時配布していますが、HP上にも掲示してあります。その主なものを紹介します。

- (1) 元気な子牛を生産するために 酪農学園大学 小岩政照教授
- (2) 搾乳ロボットの基礎 酪農学園大学 森田茂教授
- (3) 乳用牛のベストパフォーマンスを実現するために
- (4) 推定体重、飼料効率について
- (5) ゲノミック評価情報を活用しよう
- (6) 肢蹄の状態をチェックしよう
- (7) 簡易ボディコンディションスコア見本写真
- (8) 動画eラーニング体細胞数編、繁殖編、ボディコンディションスコア編

6 その他

今回紹介出来なかったものも多数あります。牛群検定を進めるにあたってのルール、器具や機材、お得な補助に関する情報、牛群検定の歴史などいろいろと掲載してありますので、どうぞご活用ください。